

む い ね おおはし
**無意根大橋を含む5つの構造物群を
紹介するパネル展を開催します**

～定山溪国道の構造物群が道内の国道では初めて国の登録有形文化財に登録～

国道230号(定山溪国道※¹)の無意根大橋、薄別回廊、薄別トンネル、仙境覆道、定山溪トンネルの5つの道路構造物が、文化庁の登録有形文化財(建造物)※²に登録されました。

これを記念して、チ・カ・ホ(札幌駅前通地下歩行空間)においてその歴史と構造物群を紹介するパネル展を開催いたします。

記

パネル展の概要 詳細は別紙参照

1. 開催期間

令和8年8月7日(金)16:00～9月1日(火)12:00

令和8年9月7日(月)13:00～9月28日(月)12:00

2. 開催場所

チ・カ・ホ(札幌駅前通地下歩行空間)北1条西側エリア(12番出口付近)

3. 展示内容

国道230号(定山溪国道)の概要、それぞれの道路構造物等を紹介するパネル展示

※¹「定山溪国道」

国道230号のうち、札幌と中山峠を結ぶために57年前に整備された道路で、急峻な地形と厳しい冬の自然条件の中で、安全な通行を確保するとともに、走行のしやすさや周囲の景観への配慮を重視した設計が行われています。

※²「登録有形文化財(建造物)」

保存及び活用についての措置が特に必要とされる文化財建造物を文部科学大臣が文化財登録原簿に登録する制度。

～札幌開発建設部のホームページ内「学びの広場」でも紹介しています～

詳細は、以下のリンクよりご覧ください。

https://www.hkd.mlit.go.jp/sp/douro_keikaku/kluhh4000000d2m3.html

【問合せ先】国土交通省 北海道開発局 札幌開発建設部

都市圏道路計画課 課長 尾野 定巳(電話番号 011-611-0216 ダイヤルイン)

都市圏道路計画課 課長補佐 谷野 淳(電話番号 011-611-0216 ダイヤルイン)

札幌開発建設部ホームページ <https://www.hkd.mlit.go.jp/sp/>



令和8年7月9日に定山溪国道の5つの構造物群が「国の登録有形文化財」に登録されたことを記念してチ・カ・ホで定山溪国道を紹介するパネル展示を行います。

位置図



＜開催場所＞

札幌駅前通り地下歩行空間(チ・カ・ホ)
北1条西側エリア 12番出口付近
(札幌市中央区北1条西側)

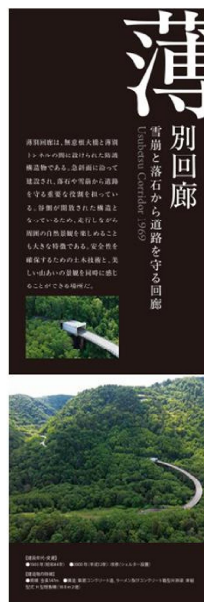
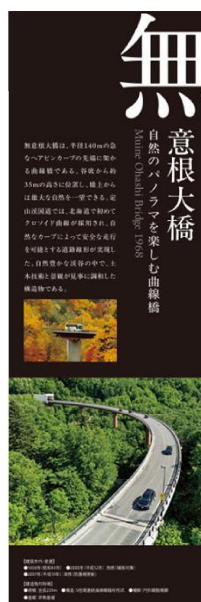
＜パネル展開催期間＞

- 第1弾：
令和8年8月7日(金) 16:00
～9月1日(火) 12:00
- 第2弾：
令和8年9月7日(月) 13:00
～9月28日(月) 12:00

＜展示内容＞

国道230号定山溪国道の概要、国の登録有形文化財に登録された各構造物を紹介するパネル展示

5つの構造物群



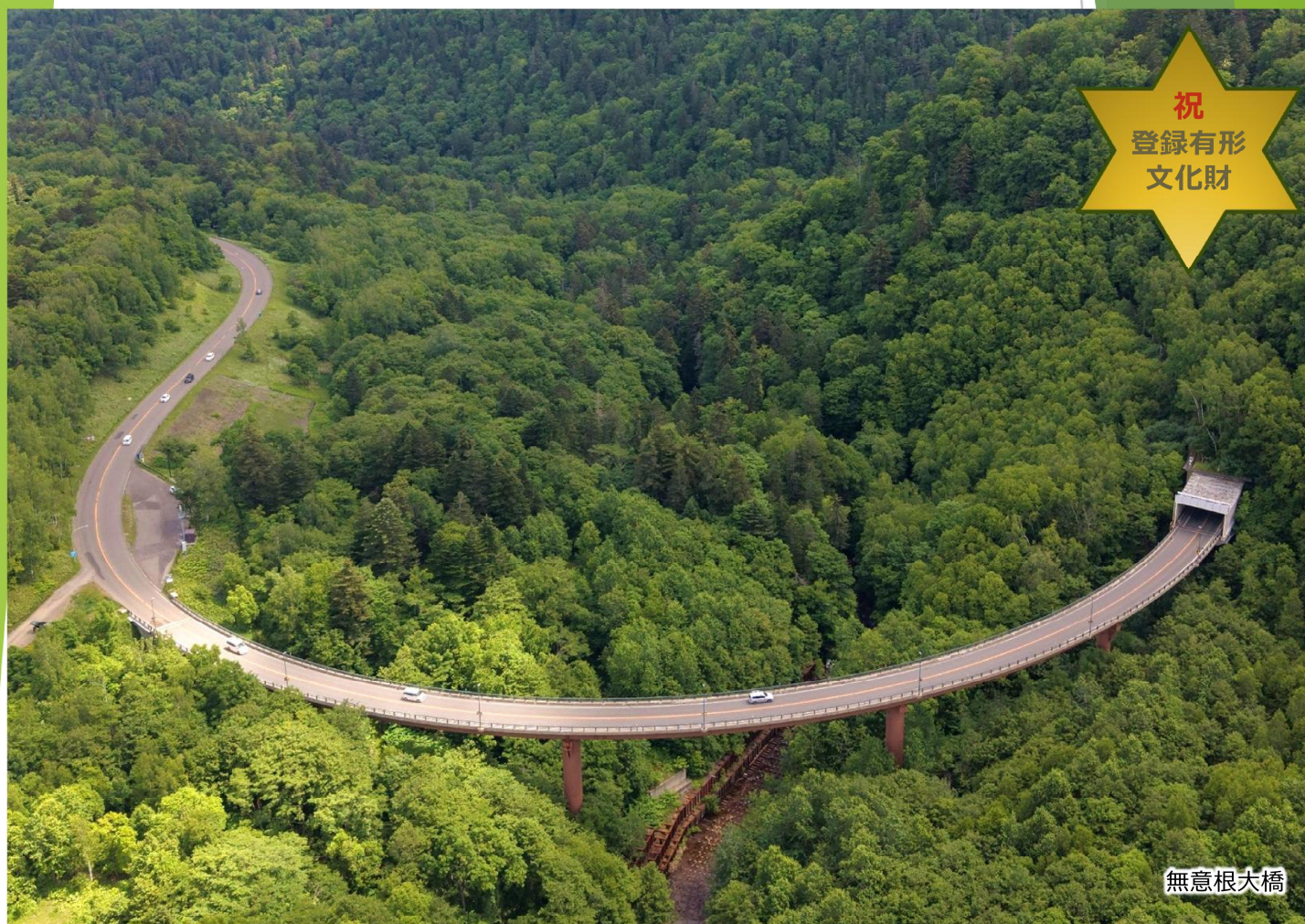
＜登録有形文化財（建造物）とは＞

建造物、工芸品、彫刻、書跡、典籍、古文書、考古資料、歴史資料などの有形の文化的所産で、我が国にとって歴史上、芸術上、学術上価値の高いものを総称して「**有形文化財**」と呼んでいます。このうち、建造物について国が指定する国宝・重要文化財（建造物）と、国が登録する登録有形文化財（建造物）があります。

令和8年7月2日現在、全国の登録有形文化財（建造物）は、14,758件あり、そのうち**北海道全体では155件**となっています。（文化庁ホームページ国指定文化財等データベースより）

定山溪国道 道路は公園のように

定山溪国道は、札幌市街地と中山峠を結ぶ重要な道路として整備されました。急峻な地形と厳しい冬の自然条件においても、安全な通行を確保するとともに、走行のしやすさや周囲の景観への配慮を重視した設計が行われています。無意根大橋、薄別回廊、薄別トンネル、仙境覆道、定山溪トンネルなどの構造物には、当時の先進的な道路設計思想が取り入れられており、機能性と景観性を兼ね備えた特徴的な道路構造物群を形成しています。

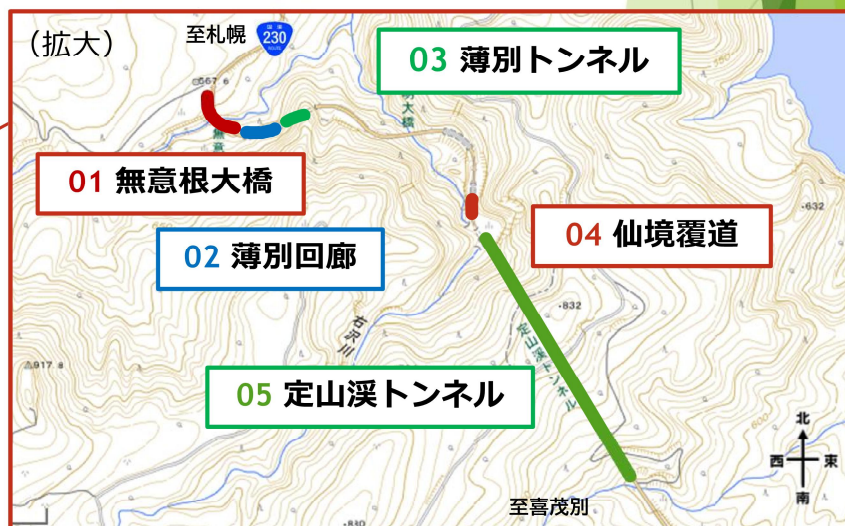


無意根大橋

●所在地・地名地番：北海道札幌市南区定山溪 一般国道230号



(国土地理院地図 電子国土Web)



(国土地理院地図 電子国土Web)

～みなさまへお願い～現地を訪れる際には交通ルールを守って安全にご覧ください。

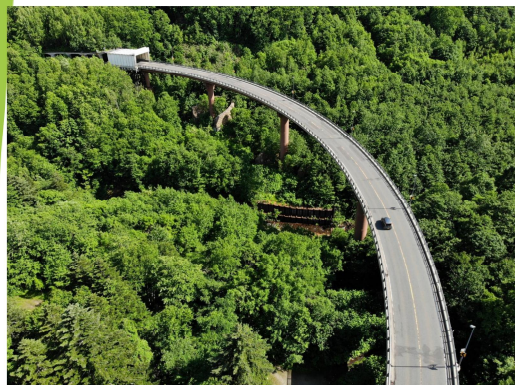
定山溪国道を支える5つの構造物群

01 無意根大橋

Muine Ohashi Bridge

自然のパノラマを楽しむ曲線橋

無意根大橋は、半径140mの急なヘアピンカーブの先端に位置する曲線橋で、谷底から約35mの高さに架けられています。定山溪国道は、北海道で初めてクロソイド曲線が採用され、自然なハンドリングで安全に走行できる道路線形が実現しました。橋脚にはフレキシブルピアの考え方が採用され、走行性と構造の安定性を両立しています。橋の上からは周囲の自然景観を一望することができます。



- ▶建設年代・変遷
1968年（昭和43年）
2000年（平成12年）
：改修（補強対策）
2007年（平成19年）
：改修（防護柵更新）
- ▶建造物の特徴
・規模：全長239m
・構造：5径間連続曲線鋼箱桁形式
橋脚：円形鋼製橋脚
・基礎：井筒基礎

02 薄別回廊

Usubetsu Corridor

雪崩と落石から道路を守る回廊

薄別回廊は、無意根大橋と薄別トンネルの間に設けられた防護構造物です。急峻な斜面に沿って設けられたラーメン構造により、落石や雪崩から道路を守る役割を果たしています。道路線形にはクロソイド曲線が採用され、運転しやすさと地形への配慮が両立されています。また谷側を開放した構造となっており、走行しながら周囲の自然景観を楽しむことができます。



- ▶建設年代・変遷
1969年（昭和44年）
2000年（平成12年）
：改修（シェルター設置）
- ▶建造物の特徴
・規模：全長147m
・構造：鉄筋コンクリート造、ラーメン及びコンクリート箱型片持梁 床組型式：H型既製橋（18.0m 2連）

03 薄別トンネル（ワニの口）

Usubetsu Tunnel

雪対策から生まれた独特の坑口デザイン

薄別トンネルの中山峠側坑口は、独特の形状から「ワニの口」と呼ばれています。急斜面の直下に位置する坑口では落雪や雪底への対策が必要であり、屋根を二次放物線形状に跳ね上げることで雪が道路へ落ちないように設計されています。また、トンネル出口がカーブ橋に接続するため視距を確保する目的で坑口を大きくえぐった形状となっており、機能性と造形性を兼ね備えた構造となっています。



- ▶建設年代・変遷
1969年（昭和44年）
- ▶建造物の特徴
・規模：全長174.9m
・構造：山岳トンネル

04 仙境覆道

Senkyo Rock Shed

曲線美が特徴の片持ち式覆道

仙境覆道は、落石や雪崩から道路を守るために設けられた覆道で、全体が曲面で構成された片持ち式構造が特徴です。放物線状の屋根形状はロータリー除雪車による除雪作業を考慮して設計されており、冬季の維持管理にも配慮されています。谷側を開放した構造となっているため、走行しながら周囲の自然景観を楽しむことができ、機能性と景観性を兼ね備えた構造物となっています。



- ▶建設年代・変遷
1969年（昭和44年）
- ▶建造物の特徴
・規模：全長115.8m
・構造：受台：鉄筋コンクリート、片さん橋、屋根：PC構造

05 定山溪トンネル（ルーバー）

Jozankei Tunnel

光を取り込むルーバー構造のトンネル

定山溪トンネルの坑口には、雪崩対策のための放物線状アーチと、明暗順応を緩和するルーバー構造が設けられています。ガラスブロックを用いたルーバーは、トンネル出入口での光の変化をやわらげ、運転者が自然にトンネルへ入れるよう工夫されたものです。また、入口はベルマウス型に広げられており、トンネル進入時の圧迫感を軽減するデザインとなっています。



- ▶建設年代・変遷
1969年（昭和44年）
1984年（昭和59年）
：改修（ルーバー部分の改修）
- ▶建造物の特徴
・規模：全長1,124m
・構造：山岳トンネルルーバーはコンクリートのアーチブロックをPC緊結させたベルマウス型（ラッパのように広がった形状）